

3年生の講義で難病の方のお話を聴きました

7月上旬、3年生の授業「暮らしを支える看護実践」で、難病を抱えながら地域で暮らされている方々のお話を聴かせていただきました。



学生の感想

まだまだ制度やサポート体制が不足している部分もあり、苦悩が多くあると思いますが、お二人の前向きな姿勢を見て、支えられる看護師になりたいと思いました。

学生の感想

病気の後遺症によってリハビリが必要になったり、仕事を探すことが難しいなどももちろん大変なことも印象に残りました。しかし、難病になって良かったことを話されており、前を向く姿が印象的でした。



学生の感想

- ・外見からはどのような病気を抱えているかわからなかったが、お話を聴いていくなかで日常生活や困ったことなど色々な経験をされていることがわかり、もっと社会全体で手助けしていけたらと感じました。
- ・お話をきいて、自分が健康で生活できることが当たり前ではないと感じました。今後、医療に携わる者として病気を抱えている方の背景や意思をしっかり聞き、患者さん自身が納得のいく人生を歩めるようサポートしていきたいと思いました。

お話しを聴かせていただくことで、学びがたくさんありました。講義に来ていただいた先生方、本当にありがとうございました！！